

<視点1>【安全・安心の保障】

具体的な取組	アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
◎いじめ・不登校への取組推進 ・未然防止(居場所づくり・絆づくり)の取組推進 ・アンケート調査の計画的実施 ・児童理解の会での情報共有と共通行動 ・いじめ対策チームの日常化 ・迅速かつ組織的な初期対応	児童	学校は楽しい。	100%	➡	a	4	○全体的に肯定的回答の割合が依然高い。 △「自分にはよいところがある」に否定的回答をした児童は10%だった。 →授業中、課題解決が十分にできていないことが要因と考えられる。また、2学期は行事が多く、立ち止まって達成感を味わう・自他の頑張りや良さを見つめる時間を十分とることができなかった。	【目標数値:児童「自分にはよいところがある」A評価100%】 →授業の中で「できた、わかった」「話し合いで解決できた」と感じられる授業改善をすすめる。また、児童同士の他者評価を定期的に実施し、自分のよさを客観的に認識できる機会を継続して設けていく。
	保護者	お子さんは、「楽しそうに学校に行っている」と思いますか。	100%	➡	a	4		
	児童	困っている友だちがいたら、助けてあげようとしている。	90%	⬇	a	4		
	児童	自分にはよいところがある。	90%	⬇	a	4		
	保護者	学校は、親切・思いやりの心を育てようとしていると思いますか。	100%	➡	a	4		
	児童	学校のきまりを守って、生活している。	90%	⬇	a	4		
	教員	児童が学校のきまりを守り、安全に生活できるよう指導している。	100%	➡	a	4		
	児童	みんなで協力して取り組み、うれしかったことがある。	100%	➡	a	4		
	保護者	学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	100%	➡	a	4		
	教員	先生は、子ども達のことをよく理解しようとしていると思いますか。	100%	➡	a	4		
	児童	児童同士のよりよい人間関係づくり(いじめ・不登校の未然防止)に努めている。	100%	➡	a	4		
	教員	児童の心のケアを最優先に、小さな変化に気づいたときはすぐ行動している。	100%	➡	a	4		
	保護者	学校は、児童の安全を守るために努力していると思いますか。	100%	➡	a	4		
	教員	定期的に危機管理マニュアルを確認して行動している。	100%	↑	a	4		

4.0

<視点2>【学力の保障】

具体的な取組	アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
◎学習に向かう基本の定着 ・授業のルールの定着(学習用具・挨拶・着ベル等) ・基盤づくりの取組(返事・挙手・反応・話し合い) ◎対話的で深い学びへの授業改善 ・学習量のあるテンポのよい授業実践 ・正しい表現力をつけるための授業改善 ・適切な発問・指示 ・話し合い活動の工夫 ・外部講師を招いての研修 ◎ICT機器の活用 ・積極的な一人一台端末の使用 ・ICT機器の効果的・効率的な活用 ◎学習習慣づくり ・家庭学習・生活リズムの取組 ・自学学習の奨励 ・補充学習等個別指導の充実	児童	授業の内容はよくわかる。	100%	➡	a	4	○全体的に肯定的回答の割合が依然高い。 △「授業の内容がよくわかる」でA評価と回答した児童の割合が-20%であった。 →授業中、課題解決が十分にできていないことが要因と考えられる。 △「失敗してもあきらめずに、取り組もうとしている」で否定的回答をした児童の割合が10%。 →授業でできる、わかるようになっているが、学習が面倒だと感じており、こつこつ努力することの大切さを継続して指導する。	【目標数値:児童「授業の内容がよくわかる」A評価100%】 保護者「お子さんは、授業(勉強)の内容がよくわかると感じていますか。」A評価100%】 →改めてできる・わかる授業づくりの取組を共有してすすめる。
	児童	失敗してもあきらめずに、取り組もうとしている。	90%	⬇	a	4		
	保護者	お子さんは、授業(勉強)の内容がよくわかると感じていますか。	100%	➡	a	4		
	教員	個々の習熟の状況に応じて、補充的・発展的な指導を行っている。	100%	↑	a	4		
	教員	多様な考えに出会わせるために、積極的に交流(集合)学習を行っている。	100%	↑	a	4		
	児童	授業では、話し合うことで、よく分かるようになる。	100%	➡	a	4		
	教員	児童が自らの考えを表現する授業への改善をすすめている。	100%	➡	a	4		
	児童	毎日、家庭学習の目標時間を守って取り組んでいる。(1・2年 30分、3・4年 45分、5・6年 60分)	90%	↑	a	4		
	保護者	お子さんは、すすんで学習に取り組んでいますか。	100%	➡	a	4		
	保護者	お子さんが家庭学習に取り組む姿は、十分だと感じていますか。	100%	➡	a	4		
	教員	家庭学習の量や質が改善するように指導している。	100%	➡	a	4		
	児童	規則正しく生活している。(起きる・ご飯を食べる・寝る時刻を守っている。)	100%	↑	a	4		
	保護者	お子さんは、早寝・早起きをしていますか。	80%	➡	b	3		
	教員	規則正しい生活となるよう指導している。(起床・食事・就寝の時刻)	100%	➡	a	4		
	児童	家で、インターネットは1日にどれくらい使っていますか。(A:30分未満 B:30分～1時間未満 C:1時間～2時間未満 D:2時間以上)	50%	⬇	d	1		
	保護者	お子さんは、インターネットの使用についての「家庭のルール」を守っていますか。	100%	↑	a	4		
	教員	ネット利用のきまりの必要性や守ることの大切さを指導している。	100%	↑	a	4		

3.8

課題① 自分のよさに気付かせる指導
→・できる・わかる授業づくり【濱野】
・自分のよさを認識できる機会【担任】

課題② 学力向上【濱野】
→・全教科でのできる・わかる授業づくり

課題③ ネット利用の取組【田保】
→・「わがやのルール」の見直しと実践

＜視点3＞【成長の保障】

具体的な取組	アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
◎体力・運動能力の向上 ・体力アップ1校1プランの推進 ・スポーチャレいしかわの取組推進 ◎キャリア教育の充実 ・将来の夢や希望を語る活動 ・働くことの喜びを知る活動 ◎認め合える集団づくりの取組 ・道徳教育及び個に応じた特別支援体制の充実 ・主体的な児童会活動の取組 ・縦割り班活動の充実 ◎読書活動の推進 ・家庭読書活動の推進 ・読書ボランティアとの連携 ◎SDGsの視点での体験学習の充実 ・地域の人・もの・ことを学ぶ(本物に触れる)機会の充実 ・まちの先生の活用	児童	自分には夢がある。	80%	⬇	b	3	○全体的に肯定的回答の割合が高い。 △「自分には夢がある」に否定的回答をした児童が20%、「お子さんには、夢がある」に否定的回答をした保護者が10%だった。 →どの児童も目標に向かって努力する姿がある。「夢」の捉えを児童と定期的に再確認する必要がある。	【目標数値:児童「自分には夢がある」A評価100%】 ➡・「夢」の捉えを児童と定期的に再確認する機会作るとともに、夢について考え方語り合う場を設ける。
	保護者	お子さんには、夢がありますか。	90%	➡	a	4		
	教員	将来の夢や希望を語る活動に取り組んでいる。	100%	➡	a	4		
	児童	学校では、友だち同士でお互いのがんばりを認め合う場面がある。	100%	➡	a	4		
	児童	先生はがんばったことをほめたり、認めたりしてくれる。	100%	➡	a	4		
		家族や地域の人に、自分からすすんであいさつをしている。	100%	➡	a	4		
	保護者	お子さんは、すすんで挨拶ができるていると思いますか。	90%	⬇	a	4		
	児童	地域のことについて、いろいろなことを学んでいる。	100%	➡	a	4		
	保護者	学校は、様々な交流活動にすすんで取り組んでいると思いますか。(①集会所での交流、②地域学習(地域の学びとの交流)、③他校との交流、④支援の方との交流)	100%	➡	a	4		
	教員	まちの先生を積極的に活用している。	100%	↑	a	4		

3.9

＜視点4＞【教職員にとって働きがいのある職場づくり】

具体的な取組	アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
・個々のライフステージに合わせた受講の奨励 ・全職員での若手早期育成プログラムの計画的実践 ・業務改善の取組推進 定時退校日の実施・計画的な年休行使 一人一役での分掌・ワンペーパーでの起案 校務支援システムの活用	教員	本校の教育目標を具現化して、教育活動に取り組んでいる。	100%	➡	a	4	○上記2つの肯定的回答の割合が100%である。 △「午後6時30分を目安に退校」が63%である。 →職員数が少ないことで、一部の職員の諸々の業務が重なってしまうことがある。	【目標数値:教員「業務の効率化をすすめ、午前6時30分を目安に退校している。」100%】 ➡・業務の見通しが持てる提案と具体的な分業を行い平準化をすすめる共に、退校時刻等を守る風土づくりをすすめる。
		教師としての力量が高まるように努めている。	100%	➡	a	4		
		業務の効率化をすすめ、午後6時30分を目安に退校している。	63%	⬇	d	1		

3.0

課題⑤ 業務改善【教頭】

- ・見通しが持てる提案と具体的な分業
- ・退校時刻を守る風土づくり

＜視点5＞【保護者・地域から信頼される学校づくり】

具体的な取組	アンケート結果					自己評価	成果と課題及び分析	改善策・最終評価での目標数値
・積極的な情報発信と開示による保護者との信頼関係の構築 ・コミュニティスクール制度を生かした「地域とともにある学校」への転換 ・公民館や地区行事と連動し、地域のよさを実感できる学習活動の企画と実施	保護者	学校は、保護者との連絡を密にしていると思いますか。	100%	➡	a	4	○全項目で、肯定的回答が100%となった。	【目標数値:保護者・地域から信頼される学校づくり】
		学校からの各種便りやホームページでの情報発信は、十分ですか。	100%	➡	a	4		
		保護者・地域へ、積極的に情報発信を行っている。	100%	➡	a	4		

「アンケート集計から自己評価までの流れ」

① アンケート結果から、それぞれの項目をa～dの4段階で評価する
「そう思う」+「だいたいそう思う」が90%以上 ⇒ a
「そう思う」+「だいたいそう思う」が80%以上 ⇒ b
「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%以上 ⇒ c
「そう思う」+「だいたいそう思う」が70%未満 ⇒ d
② ①の4段階の評価を、a=4 b=3 c=2 d=1として、平均を出す

③ 以下の基準で平均値から自己評価を行う
平均が3.6以上 ⇒ A
平均が3.0～3.5 ⇒ B
平均が2.4～2.9 ⇒ C
平均が2.3未満 ⇒ D

↑ 5%以上増えている
↑ 10%以上増えている
↑ 5%以上減っている
↓ 10%以上減っている
※令和8年度前期との比較

【保護者から】

- ・インフルエンザでオンライン学習をすることになった時は、とても手厚い対応をしていただきありがとうございました。(5年)
- ・正院小学校の先生方には、担任の先生はもちろん全職員の方が子供達を温かく育てて下さっていると思います。毎日明るい顔で「行ってきます」「ただいま」の声が聞けることは、幸せなことだなあと感じています。先生方が支えて下さっている安心感で、子供も大きく成長しているなど最近は感じるようになりました。なので、先生方、無理をせず、早めに帰宅して下さい！！！先生方の健康が第一ですので！！！本当にいつも子供達のためにありがとうございます。(5年)